



シャーラム工場団地



プチョン工場団地



セパンの工場団地

セランゴール州内で重工業団地を開発 信頼第一、日系企業に学び成長を続ける タンジュン・バライ・グループ

タンジュン・バライ・グループ (Tanjung Balai Group TJB) は40年前、建築建材のレンガや石材のサプライヤーとして創業した。その後は自身でレンガや石材を生産して業者に納入するなどして業務を拡張し、さらには各種不動産開発に携わるなどして事業を広げた。シャーラムやプチョン、KLIA周辺のセパンなどに保有する用地は1000エーカーに達しており、商業施設の開発からテラスハウスなど住宅開発も手掛けている。スリ・ケンバンガンの用地はジャスコに店舗用敷地として提供し賃貸契約を結んでいる。しかし、現在の主要業務は10年ほど前から参入したセランゴール州内での重工業団地開発で、プチョン工業団地、シャーラム工業団地そしてセパンの工業団地の開発計画が進行中だ。セランゴール州内で着実に事業を広げ確固たる実績を上げているTJBグループを創業したのはヤップ・チューンヒヨン社長と現CEOのジョニー・ヤップ氏の兄弟で、これにマレー系有力者で現会長のダト・ハムザ氏が加わり、80年代にグループの事業は急速に成長した。

開発ラッシュのマレーシア、事業は1980年代に大きく飛躍

1980年代のマレーシアはマハティール首相（当時）の指導下で急速に成長中だった。クアラルンプールは大規模な開発ラッシュで、日本の大手ゼネコンも数々の大規模プロジェクトに関わっていた。ところでビル建設には大量のレンガや石材が必要になる。TJBグループはレンガや石材の納入業者としてスタートし、納入先には日本の大手ゼネコンが請け負ったプロジェクトの下請け地元業者も数含まれていた。

事業が順調に成長してきたTJBグループは石材とレンガの製造工場を買収し、自社生産のレンガと石材を納入することにした。このような経緯からグループは創業当初から日系企業と深く関り、信頼を重んじるその企業文化に多くを学んだという。

事業はセランゴール州内に限定、高い競争力を保つ

TJBグループは業務をセランゴール州内に限定している。州内に集中して数多くの開発事業を手がけてきた実績を背景に、グループは競合他社との競争で常に優位に立つことができている。更にTJBグループは長年にわたる実績でセランゴール州政府そして連邦政府と密接な関係を築いている。政府が組織したビジネス使節団に加わりドイツを訪問し、ボッッシュのドイツ国内工場を視察し、厳しい品質管理などドイツ式の生産体制から多くを学んだ。この経験はグループの工場団地開発事業のレベルアップに大きく役立った。

そして着実に実績を積み重ね信頼を得てきた結果、セパン工業団地内の一帯用地を、国内大手の一つに数えられる合成ゴム手袋メーカーに工場敷地を販売する売買契約を結ぶことに成功した。海外を含む複数の候補地を抑えて契約を獲得できたのは、メーカーからの専門的かつ高度な要求を政府側に認めさせることができたからだ。グループがこれまでに成し遂げてきた実績や、工場周辺の環境保護への慎重な配慮などの経営方針が政府側の判断の決め手となった。

政府との相互理解がキーポイント、事業成功の秘訣とは

連邦政府の投資開発庁（MIDA）やセランゴール州政府のセランゴール州投資センター（SSIC）など国内産業の発展育成を重要な任務とする政府機関はトップから実務スタッフまでプロフェッショナルに徹した人材が揃う。国内経済の発展や国民の雇用機会創出にどれだけ貢献するかが、プロジェクトの許認可の判断の決め手になる。

政府はマレーシア国民の雇用拡大を、国内で操業する海外企業にも求めており、TJBグループは政府トップから州内の雇用機会拡大について直接相談される。自国民雇用の重視は当然だ。しかしTJBグループはプロジェクトに必要不可欠な外国人労働者の雇用認可を得るだけの深い信頼関係を築いている。マレーシア経済と国民に利益をもたらすと、誠意を持って説明し納得させるのがプロジェクト成功への近道だというのが、TJBグループがこれまでの経験から得た結論だ。

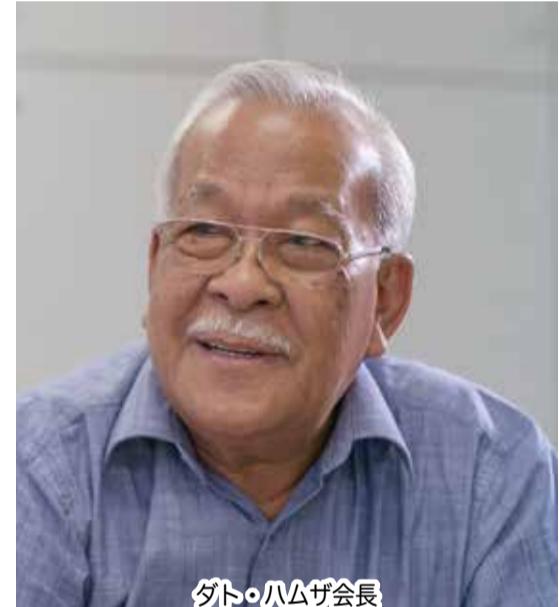
直接交渉が基本、日本の企業文化から多くを学ぶ

ジョニー・ヤップCEOによれば、マレーシアで順調にプロジェクトを進める秘訣は先方の連絡や通知を待たず、自分から積極的に会いに行くことだという。

「コンサルタント業者に頼りきりにならず、政府の担当者と直接会うべきです。率直に意見を交換して相互理解を深めること。そして、コンサルタントができない高度な経営判断を交渉の場で下すこと。これが交渉成功の秘訣です」と自身の豊富な経験からアドバイスする。信頼を重んじ、やるべきことを確実に実現させる日本の企業文化に多くを学び、自身の企業哲学としてきたというジョニー・ヤップCEOは続けて、「言ったこと、約束した事はきちんとやりとげる。これだけです」と、グループの実績について謙虚に語った。

約束は必ず守る。言ったことは実現させる。とてもシンプルな原則を長年にわたって守ってきた、ダト・ハムザ会長、ヤップ・チューンヒヨン社長そしてジョニー・ヤップCEOの3人。力を合わせてTJBグループを今の成功へと導いてきた3人は、州内の重工業団地プロジェクトを成功させ、さらなる発展を目指している。

(Mitsuyuki Horii)



ダト・ハムザ会長



ヤップ・チューンヒヨン社長



ジョニー・ヤップCEO



t : +603 - 8941 2288
f : +603 - 8941 9988

montedgesepang@gmail.com (日本語可)